

「緑の新規就業」総合支援事業（拡充）

【平成27年度概算決定額 6,002,441（6,419,000）千円】
（平成26年度補正予算 325,470千円）

事業のポイント

間伐等の森林整備を安全かつ効率的に行える現場技能者の確保・育成や定着を着実に推進するため、新たに、多様な育成スタイルにも応じた弾力的な研修受講、研修指導体制の強化、安心・安全な就業環境整備に向けた取組等を支援します。

<背景／課題>

- ・利用期を迎えた人工林資源を循環利用し、国産材の安定供給を図るためには、間伐等の森林整備を安全かつ効率的に行える現場技能者の確保・育成が重要です。
- ・これを着実に推進するためには、新規就業者の適性を伸ばす多様な育成スタイル等に対応するとともに、安心して定着できる安全な就業環境を整える必要があります。

政策目標

- 現場管理責任者等を5,000人育成（平成32年度）
- 高度化技術架線技能者を300人育成（平成28年度）
- 林業労働災害死傷者数を15%以上減少（平成31年度(対平成26年度比)）

<内容>

1. 「緑の雇用」現場技能者育成対策事業 [拡充] 5,683,241(6,055,388)千円
(平成26年度補正予算 325,470千円)

(1) 新規就業者の確保・育成・キャリアアップ

林業事業体が新規就業者を雇用して行う以下の研修等を支援します。

- ① 林業への新規就業者の確保に向けた就業体験やガイダンス、作業実態等の理解を図るためのトライアル雇用
 - ② 新規就業者が基本的な技術を習得するための3年間のOJT研修、作業器具の改良等に加え、研修生の技術習得向上のための指導体制強化、就業環境整備
 - ③ 現場管理責任者等に必要な知識・技術を習得するためのキャリアアップ研修
 - ④ 就業者の能力に応じたキャリアアップに資する能力評価システム等の導入
- ※ 研修生1人当たり9万円/月等を助成（①のトライアル雇用は3ヶ月、②のOJT研修は、1年目10ヶ月、2、3年目8ヶ月を上限、3年間研修の受講可能期間は最大5年）

(2) 林業機械・作業システム高度化技能者育成

木材の生産性の向上を図るため、急傾斜地等での効率的な架線集材を実現する高度な索張り技術等を備えた架線技能者の育成とともに森林作業道作設オペレーターの育成強化を行います。

(3) 林業労働安全推進対策[新規]

林業事業体の自主的な安全活動を促進するため、林業事業体の指導等を担える労働安全の専門家として新たに養成し、その活動を通じて事業体の意識改革や地域の安全指導能力の向上を図るとともに、業界全体に安全意識の啓発を行います。

2. 緑の青年就業準備給付金事業

319,200(363,612)千円

林業への就業に向け、林業大学校等において必要な知識の習得等を行い、将来的に林業経営をも担い得る有望な人材として期待される青年に対して、安心して研修に専念できるよう資金を給付します。

※ 就業希望者1人当たり150万円/年を最大2年間給付

<補助率等>

1 (1)、(3)、2 定額 1 (2) 委託

<事業実施主体等>

1 民間団体 2 都道府県等

<事業実施期間>

1 (1)、2 平成25年度～平成27年度（3年間）
1 (2) 平成26年度～平成28年度（3年間）
1 (3) 平成27年度～平成31年度（5年間）

【担当課：林野庁経営課、研究指導課】